

令和7年度参与会における点検・評価による本校の課題への対応（計画）

参与会での指摘事項	担当	本校における対応（計画）
自己点検・評価に関する事項		
<p>想像力、実践力等を育む教育方法の工夫（観点6-3-③）では、様々な実験・実習・研究プログラムが設定されており高く評価できるが、特別実習（インターンシップ）は県内企業の事例が少ないとの説明があった。県内にも学生の実践力向上に貢献しうる企業が多数立地しており、今後はこれらの活用も検討いただきたい。</p>	<p>専攻科会議 教務会議 キャリア支援室</p>	<p>【専攻科会議】 県内企業のインターンシップ参加は国内インターンシップ参加者の1/4程度の傾向にあり、県内企業就職率より高い傾向にある。インターンシップ期間を5日間に設定している企業が多く、何れの学生も10日間の特別実習期間において複数の企業で実施する際に、県内企業も選択する傾向にあるため、今後も引き続き学生に県内企業をご案内させて頂くとともに、学生の実習先として受け入れをお願いしていきたいと考えている。</p> <p>【教務会議、キャリア支援室】 本校主催の12月実施のキャリアプログラムにおいて、県内企業のブース訪問を設定し関心を高める工夫をおこなっている。また高専祭においても、岐阜県ジンチャレと連携して、県内企業と保護者を交えた情報交換会を設定している。</p>
<p>一般科目担当の教員の公募が行われているが、近年の教員採用は希望通りの採用が行われる状況ですか。</p>	<p>人事委員会</p>	<p>一般科目の教員採用については、次のとおり。 R7. 4 数学1, 社会1 R7.10 社会1 R8. 4 英語2</p> <p>必要な教員について、最終的に確保に至っているが、応募者が減少傾向にあることから、引き続き、近隣の大学院や学会を通じて教員公募の周知に努めることとする。</p>
<p>近年は、精神的な問題のある学生が増加しつつある。そのような学生への対応をもう少し詳細に記述して欲しい。 また、現状のカウンセラーでは対応できず人数を増やす必要も出てきているが、高専では十分に常置されていますか。</p>	<p>特別支援検討委員会 学生相談室</p>	<p>まずは高専生活アンケートを定期的実施して不安定な学生を確認し、面談につなげるように相談室から声掛けをしている。 カウンセリング体制については、今年度前期までは月曜日から木曜日まで週4日体制だったが、今年度後期は金曜日にもカウンセラーに来ていただいて、毎日カウンセリングを受け付けている。</p>
<p>教育組織及び教員・教育支援者等について、若手や女性が少ない。</p>	<p>人事委員会</p>	<p>(1) 若手教員の確保の観点から、教員人員枠の管理（助教枠の増）を行う。 (2) 教員公募において、本校では男女共同参画を推進しており、女性の採用を積極的に進めている旨明記する。 (3) ライフステージに応じた柔軟な勤務時間制度、同居支援プログラム、女性研究者等キャリア支援事業の取組を周知する。</p>
<p>女子学生が少ない。高校生の段階で指導しても遅く、小中学生の段階で理系に進むよう指導すべき。今後、そのような教育を高専と大学が協力して行えると良い。</p>	<p>テクノセンター</p>	<p>地域の自治体や教育機関と連携し、次の取組を実施し、地域の理工系人材の育成支援を一層推進する。 ・本県市における算数数学甲子園の活動 およびSTEAM楽校 ・小中学校における理工系の出前授業 ・教育委員会・自治体と連携した理工系の出前講座 ・大型商業施設と連携した理工系の出前講座</p>

令和7年度参与会における点検・評価による本校の課題への対応（計画）

参与会での指摘事項	担当	本校における対応（計画）
<p>小中学生の教育支援（地域貢献）について</p> <p>小中学生へ色々な学習機会を提供することが、高専を知ることや理系の学びに繋がる。日本の技術力の向上のためにも、ぜひ教育支援を継続していただきたい。できれば参加人数や男女比などのデータも整理していただきたい。</p>	<p>テクノセンター 教務会議 入試運営委員会</p>	<p>【テクノセンター】 地域の自治体や教育機関と連携し、次の取組を実施し、地域の理工系人材の育成支援を一層推進する。なおR6年度実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本巣市における算数数学甲子園の活動 およびSTEAM楽校 →10件 450名参加</li> <li>・小中学校における理工系の出前授業 →56講座 6,058名参加 (うち小学生向け 1,951名)</li> <li>・教育委員会・自治体と連携した理工系の出前講座 →1件 約3,000名参加</li> <li>・大型商業施設と連携した理工系の出前講座 →2件 1,180名参加</li> </ul> <p>【教務会議、入試運営委員会】 中学校へのお出前授業は、全教員がプログラムを設定しており、多数の教員が実践している（R7年度は10校へ19講座を実施）。</p>
<p>少子化が進んでおり、東京一極集中など、地元においてもその後、都市圏に就職し地元に戻らない事例が起こっている。その中で、岐阜高専には是非、岐阜が住みやすい地域であることをアピールしていただきたい。</p>	<p>キャリア支援室 教務会議</p>	<p>岐阜県ジンチャレと連携協定を結び、本校ウェブに以下のページを設置し、都市圏に就職した学生が、岐阜に戻る場合の、就職支援の体制を確立している。 <a href="https://www.gifu-nct.ac.jp/career/jinchare/">https://www.gifu-nct.ac.jp/career/jinchare/</a></p>
<p>岐阜高専の学生には是非、地元企業で活躍してほしい。また地域の課題解決に県内の企業がより関わられるように配慮をいただきたい。</p>	<p>キャリア支援室 教務会議 テクノセンター</p>	<p>キャリア支援室とテクノセンターで連携し、次の取組を計画・検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①来年度の3年協同教育（地域課題解決型アイデアソン）について 地域連携協力会に所属する企業を中心に、企業からの課題依頼を募集する計画である。</li> <li>②活動の低学年への拡大 これまで3年生を対象としていた同様の活動を、1年生・2年生にも広げることを計画している。</li> <li>③県内企業との連携強化 低学年の学生を対象に、県内企業への工場見学や短期インターンシップの実施を依頼することを検討している。</li> <li>④近隣大学との連携による地域課題解決事業への参加 学生が主体となる地域課題解決提案事業に、積極的に参加することを推奨している。</li> </ol>

令和7年度参与会における点検・評価による本校の課題への対応（計画）

参与会での指摘事項	担当	本校における対応（計画）
<p>その他本校の運営に関する事項</p>		
<p>ネットリテラシーに関する具体的対策についてももう少し説明が欲しかった。</p>	<p>情報セキュリティ管理委員会 学生会議</p>	<p>4月に新生を対象とした情報研修を実施し、その中で情報セキュリティおよび情報倫理について講話している。さらに、第1学年において携帯モラル教室、第2学年において学外講師による情報リテラシー講演会を実施している。 また、年度初めに全学生が情報モラルのe-Learning教材を受講する。受講が完了しないと校内無線LANへアクセスできない。</p>
<p>いじめに係る研修の受講率、アンケートの回収率が低い。アンケートはWebでの回答とのことだったが、一斉に回答する時間を設定するなど全員が回答することを当たり前にした。いじめなど学生間のトラブル等がみえにくくなっているからこそ、さまざまな方法でSOSを出せる仕組みを整えていただくとよいのではないか。</p>	<p>いじめ対策会議 学生相談室</p>	<p>今年度はアンケート回収率100%を目指して、担任からの声掛けを徹底し、期日を過ぎても未回答の学生に対しては学生相談室員から個別にチャットを送って回答するように声掛けをしている。担任だけでなく、授業担当教員や部活顧問など、学生と接する場面で学生の日頃の様子をご確認いただき、変化が見受けられる場合はお声掛けいただくようにしている。最近では、アンケートや意見箱のほか、担任や相談室員との面談、カウンセラーとの面談においても、学生がSOSを出してくれるケースが増えており、速やかに対応している。</p>
<p>その他</p>		
<p>学生や外部の方から、コミュニケーションをとることが難しい教員もいると聞いている。そこで、ハラスメント研修に加え、教員向けにビジネスマナー、社会人基礎、法的知識、コンプライアンス、コミュニケーション能力などを学ぶ研修の場を設けるとよいのではないか。</p>	<p>FD・SD推進会議 人権委員会</p>	<p>【FD・SD推進会議】 コミュニケーション・マナー研修、コンプライアンス（法令遵守等）研修等各種研修・セミナーを計画的に企画・実施する。 ・課外活動指導における学生とのコミュニケーションに関する研修 [3月中旬] ・コンプライアンスセルフチェック [2月上旬]</p> <p>【人権委員会】 ハラスメント防止研修を計画的に企画・実施する。 ・人権セミナー（ネット上の人権侵害に係る講演） [10月29日] ・ハラスメント防止動画研修 [1月中旬～2月中旬]</p>